

陸上競技研究紀要 第8巻

編集後記

平成 24 (2012) 年度「陸上競技研究紀要」第 8 巻をお届けします。本号は、原著論文 1 編、資料 1 編と「日本陸連科学委員会研究報告」の論文 14 編から構成されています。このところの傾向ではありますが、一般投稿論文が少なく、まずは投稿が活発になることを期待します。一方、科学委員会研究報告では、2011 年テグ世界選手権をはじめ国内外の競技会における一流競技者の特性やパフォーマンスが解析され充実した内容になっています。こうした最新のデータや知見は、必ずや現場の指導で役に立つでしょう。是非、ご一読の上参考にして下さい。

さて申し遅れましたが今回の編集後記を担当した著者は、この度、平成 24 年度に改選された日本陸上競技連盟陸上競技研究紀要編集委員会の委員長を拝命致しました。これまでの本紀要が積み上げてきた成果を尊重し、その流れを絶やすことのないようにつとめていきたいと願っております。読者の皆様のご支援、そしてご叱正を何よりの抛り所にして行く所存です。

ひるがえって、国内外のスポーツ競技団体にこのような学術雑誌を刊行する例はそれほど多くないと思います。陸上競技では、国際陸上競技連盟の発刊する New Study in Athletics などが特筆すべき事例と言えましょう。

むろん、よき手本としつつもこれを直ちに模倣するのではなく、我が国陸上競技界の事情に応じた企画が必要なことは言うまでもありません。競技団体が出す学術誌には、自ずと既成の学術団体のものとは違った味があるはずで、これまでの本誌「陸上競技研究紀要」を紐解いても、そうした味が有形無形に込められています（ときに隠し味になって）。それを財産として継承しつつまたひと味違う Something Else を創り出したい、新編集委員会ではそうしたことが話題になり検討されています。そしてなにより、読者からのアイデアを是非反映させたいと願っています。本誌へのご意見、ご希望が多数寄せられますことを切に望みます。

2012 年 10 月 1 日

文責 伊藤静夫

陸上競技研究紀要第 8 巻 編集委員会
伊藤静夫 (編集委員長)、榎本靖士 (編集副委員長)、尾縣 貢
高松潤二、森丘保典、青山清英、高橋義雄、桜井智野風、安井年文、眞鍋芳明
(日本陸上競技連盟・事務局) 森 泰夫、佐藤峻一、額田 潤

「陸上競技研究紀要」第8巻

2012年11月1日発行

発行人 尾縣 貢

発行所 公益財団法人日本陸上競技連盟

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

TEL : 03-3481-2300
